

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人きらめき福祉会	代表者	理事長 松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	当事業所は法人理念である「利用者の笑顔と地域社会のために」を基に、開始前からリハビリ専門職がご自宅に訪問し環境調整や身体機能評価を行い、在宅生活でのご利用者・ご家族の安心感に繋がっています。加えて生活支援に対しては多職種で話し合い、地域資源も組み合わせながら思いに沿ったケアを心がけています。 また、健康体操サロンを毎月開催し、参加者のお困り事なども聞きながら、事業所の強みを活かした取組みを実施しています。
事業所名	きらめきの里鯖江	管理者	後藤 賢司		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		3人	10人	2人	1人				17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1) 日々の業務内容の中でのムリムラに対する業務改善活動を進め、ご利用者の生活の流れや状態についての話し合いの機会を作り、必要の方に必要な支援を確実に提供できるようにサービス提供の質を高めます。</p> <p>2) 理念や行動指針を振り返る機会をつくり、優れた運営に向けて取り組みを進めます。</p>	<p>1) ICTを活用によって、利用者についての情報が確実に共有され、状態変化についてもミーティング等で話し合う機会が増えました。その結果ケアの質が保たれることに繋がっています。</p> <p>2) 職員各々にリーダーと面談を行い行動指針に応じた個人目標を設定し、課題解決に取組むことができました。その結果、利用者ケアについて自ら考えて取り組む職員が増え、ケアの質が高まっていると実感しています。</p>	<p>・「なんとかできている」の方がまだ多かったのが気になります。</p> <p>・いつも本人をサポートしていただき、感謝しております。</p> <p>・地域の区長や民生委員と繋がれるようになってのはすばらしいです。</p> <p>・理学療法士さんがいらっしゃるのはいいですね。リハビリメニューを自宅でも取り入れています。大変うれしいです。</p> <p>・職員の意見の吸い上げの検討が難しそうです。</p>	<p>1) 「なんとかできている」との回答が多くあった項目については、業務負担の軽減を継続しながらライフサポートプラン2を基に生活上の課題解決に向けてチームで話し合う機会をケアマネが計画的に実施します。さらに支援の進捗を意向や生活の流れに沿って確認し、出来る事や出来ない事、支援が必要な事を地域資源も活用しながらより明確化してチーム内で共有します。</p> <p>2) リーダーとの面談時に行動指針に沿った個別課題や事業所のあり方等について意見を聞き、必要に応じて全体の職場会議で協議を図りながら、皆で課題に取り組める仕組み作りを進めます。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>1) 荷物置きとしてロッカーの設置を進め、ご利用者の荷物が混ざらないように工夫します。</p> <p>2) 生活の一部としてご利用者の生活スタイルに応じた個別支援の提案を進め、施設環境を活用した活動提供に繋がります。(リハビリ活動、趣味活動、利用者同士の交流、ゆっくり過ごす など)</p> <p>3) ご利用者が快適に過ごせるように事業所の整理整頓を進めます。</p>	<p>1) ロッカーを設置したことで荷物が混ざらないだけでなく、プライバシーへの配慮にも繋がり、使用される方の安心感に繋がっています。</p> <p>2) 個別的に取り組める環境によってリハビリ活動や趣味活動、利用者同士の交流の機会が作られ、笑顔で穏やかに過ごされる場面が垣間見えています。</p> <p>3) ケアアシスタントが増えたことで、役割分担がさらに進み、ご利用者やご家族、見学に来られた方にも奇麗さが保たれているとおっしゃっていただいています。</p>	<p>・この間、施設内をみさせて頂きましたが、明るくてきれい。ロッカーも高さやネームのところも工夫されていて良かった。</p> <p>・リハビリをしてくれることがありがたい。</p> <p>・職員の皆さんの笑顔が見えて安心して来る事が出来ています。</p> <p>・廊下に物がなくて歩きやすい。</p> <p>・施設南側でお花を眺めたり、庭いじりができると良さそう。</p> <p>・職員の皆の雰囲気が良い。全体に目を配らせている。</p> <p>・個室があるので、休んでいる時は静かが良い。</p> <p>・いつでも自由に行き来出来るようになっているので、利用中に歩いたりできる。</p>	<p>1) 一人一人のライフスタイルや意向に沿った支援を行えるようライフサポートプラン2を基に、個別的な取り組みを継続して提供していきます。(個別リハビリ、家事活動、地域との交流、睡眠状況など)</p> <p>2) ご利用者が安心安全に事業所内で活動できるようにケアアシスタントを中心に整理整頓や清掃活動を継続していきます。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>1) 地域にとって「役立つもの、必要なもの」を探り、ご利用者の出来る活動を活かして地域との関わりを作る機会を作っていきます。</p> <p>2) 地域の児童や親子を対象にした地域福祉活動にご利用者の参加を促し、交流の機会を提供しています。</p> <p>3) 通信誌やSNS、チラシによる活動の様子を発信に力を入れ、事業所を知っていただく機会を増やしていきます。</p>	<p>1、2) 食育企画や健康体操など地域とご利用者が関る機会を作ることができました。参加されたご利用者からはお喜びの声をいただいています。</p> <p>3) チラシのデザイン作成が得意な職員に広報誌のデザインを考えてもらい、伝わりやすい工夫を行いました。SNSでの発信については頻度を増やす取り組みが今後の課題と考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Agatte企画、健康体操も周知されてきたと思います。 ・職員の皆さんは優しく相談しやすいです。 ・近所の方にきらめきについて聞かれる事があります。 ・こまかな事でも連絡してくださり、すごく助かっています。 ・児童センターの子供達との交流をしていただきありがとうございます。交流を通して子供達の話から子供達の家族にも取り組みの良さを知ってほしいです。 ・食べる事、作る事、ふれあうことで子供達と施設の利用者の方々がお互いに心が豊かになっていってほしいと願います。 ・SNSでもっと発信してくれるとより事業所の様子が分かって良い。 	<p>1) 健康体操や食育企画、Agatte企画等で地域の方の相談や見学対応を受けながら、地域の方が身近に足を運べる関係づくりを進めます。</p> <p>2) ケアアシスタントの方にSNSの運用を担ってもらいながら発信頻度も増やしていきます。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>1) ご利用者が住み慣れた地域で住み続けられるように地域の方についての情報収集を行い、関わる機会を作ります。</p> <p>2) ご利用者が地域行事に参加出来るようにリハビリ活動や施設外での活動機会を提供していきます。</p>	<p>1) 事業所が関わっていない時間帯に生活課題がある方に対しては地域の区長さんや民生委員、交友関係についてご本人、ご家族、地域包括支援センターの方に協力いただいて情報収集を行い、ご利用者の生活支援と一緒に考える機会を作ることができ、ご利用者が在宅で過ごす時間が増えました。</p> <p>2) 専門職以外でもリハビリが実施できるように個別メニューを作成して、訪問サービス時も実施し、屋外のリハビリ活動や外出計画を進めました。参加された方からは楽しかったとおっしゃっていただきました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意見を聞いてお花見、菊人形等好きな所へ外出して楽しんでおられる様子が見られます。 ・外に集団で外出するのも1つですが、その方の個別プランの中に必要な所に必要な時間に外出できることなどが可能になるとうれしいです。 ・自分では外に連れ出すことが出来ない為、外との繋がりを作って下さり感謝しています。 ・今まで地域で活躍されてきた方も多いため、個々の希望が叶えられると良いですね。 	<p>1) ご利用者の地域のサロンや交友関係についての情報を集め、施設外での活動に繋げ顔馴染みの関係づくりを進めます。</p> <p>2) 小規模の特徴である通い・訪問・宿泊を組み合わせ、出来るだけ長く在宅での生活を確保出来るように、地域の方を含む地域資源との連携を強めます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>1) ご利用者に生きがいや楽しみ、安心感を感じてもらうために傾聴や趣味活動などのボランティアに関する情報収集を行い、受け入れを進めます。</p>	<p>運営推進会議で地域の方との行事予定について情報共有をさせていただき、ご利用者の活動計画の検討を進めました。また、Agatte喫茶の案内を回覧板で回していただき、参加されていない方にも情報が伝えられるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の皆さんで塗り絵や貼り絵に取り組まれているのは良い。 ・学校の冬休み等を利用して、子供とのふれあいが出来ると良いのでは？ ・運営推進会議では、地域の心配な方の事例検討は無いように思います。 	<p>1) Agatte喫茶の取り組みを活かして地域の方の拠り所や様々な活動の機会も提供に繋がられるように運営推進会議でご案内や意見交換を実施します。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>1) 鯖江市で想定される災害（火災、地震、水害、雪害）について避難訓練を継続して行い、避難計画の質を高めていきます。</p> <p>2) 利用者の個別避難計画の把握を進め、通い外の時でもご利用者の安全が確保できるように取り組みを進めます。</p>	<p>1) 水害を想定した訓練では、垂直避難後のご利用者の生活空間のレイアウトを写真にして見える化しました。また、避難訓練当日にはご家族にも安否確認の連絡をさせていただき、ご家族の安心感にも繋がっています。</p> <p>2) 独居や日中に支援が手薄になる方を中心にその方の住む地域の区長さんや民生委員の方と話し合う機会を作り、災害時の避難計画を共有します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想できない恐ろしいものですね、訓練は大切です。 ・訓練の際、家族にも実際に連絡があつてしっかりと体制が考えられていることが分かって素晴らしいと思います。 ・進徳小学校では12月29日(月)に訓練の時に食料として備蓄しておくフードを食べるそうです。スプーンを持って行きました(小6の孫ですが)。そういう経験も良いかもしれませんね。 ・現在、独居になり民生委員の方と話し合う機会もなく少々不安を感じています。(以前は、地域の防災訓練にも参加できていました。) 	<p>1) 避難訓練を継続し、ご家族や地域の方にもご参加いただきながら、避難計画の質を高めます。また備蓄食に関しても保管期間を管理しながら試食について検討を進めます。</p> <p>2) ご利用者の個別避難計画についても地域の方との話し合いの機会を確保しながら、質を高めます。</p>

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 今後も初回のケア会議を確実に実施し、ご利用者やご家族が安心してご利用に慣れていただけるように、ご利用者に関わる中で生活リズムやご利用者の興味のあることなどの情報収集を行い、職場内での共有を進めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 初回のケア会議は、ケアマネジャーが紹介先、ご利用者、ご家族から情報収集を行い、事業所内で共有を図りました。その後も何度も紹介先やご家族と連絡を取り合い、ご本人の想いに沿ったケアを具体化して取り組んだ結果、ご利用者やご家族から「もっと早くに利用すれば良かった」とのお声をいただきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	8			
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	13				
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	13				
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	10	3			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用開始前からの福祉用具の選定など自宅環境の見直しを行い、利用開始後も在宅での過ごし方を踏まえて自宅環境の調整をしながらサービスを実施できています。 ケア会議に不参加の職員に対しても情報通信機器を使って利用者情報やケア内容を申し送りして情報が全職員に共有できるようになっています。 利用開始直後で雰囲気慣れていない方にも職員が積極的に話しかけたり、お話が利用者を巻き込んで声掛けするなど利用者同士で顔なじみの関係の構築を意識して取り組みを進められました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者と関わる中での新たな気づきを基により一層ケアに繋げる為に、チーム内での共有の質を高める必要があります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者に関する情報はモニタリングやライフサポートプラン2へ反映させ、チーム内で共有していきます。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 意思疎通が取りにくい方の「～したい」の実現のために、職員間で予測を立て、実行し、その結果良かったのか悪かったのかを評価することでご本人が楽しく過ごしてもらえるような取り組みを進めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より、新たに認知症チームケアの評価用紙を活用してご利用者の意向に沿ったケアをチームで考え、実践したことを定期的に振り返る機会を作り、ケアの向上に繋げることができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	4	9			
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5	8			
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	5	8			
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	9			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 既存職員、新規職員に対してもケース記録の際は、ケアプランに沿った記録を意識づけさせるために毎月ケア会議を行い、目標と課題の共有が行えています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から開始した認知症チームケアの取り組みを通して個別性のあるケアの質を高める必要があります。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 継続して認知症チームケアの取り組みを実施し、意向にそったケアの実践の質を高めていきます。

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
3. 日常生活の支援	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	10人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 意思疎通の取りにくい方の声の言語化のために通いで様子や自宅生活の中での課題を探りつつ、ご本人が興味のあることや楽しみを感じてもらえる支援を探しながら、本人の思いの理解を進めます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 意思疎通が取りにくい方や関り方が難しい方の思いの把握のためにライフサポートプラン2や認知症ケアの取り組みを進め、ご利用者からは「役割が持ててうれしい」といった声をいただきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		8	5		
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	5			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8	5		
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	5	3		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 訪問時にも情報通信機器を導入したことで事業所での在宅生活に関する状況把握の質が高まりました。 体調不調やご家族の介護負担の状況に応じてケアマネジャーやリーダーと共有し、「通い」「訪問」「宿泊」それぞれのサービスを柔軟に活用する提案が行えています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 情報通信機器で把握した情報を基にできる事と出来ない事、支援が必要なことを具体化し、利用者ごとのケアの質を高めていく必要があります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 把握した情報をモニタリングやライフサポートプラン2へ反映してチームで共有し、利用者ごとのケアの質を高めていきます。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	10人	2人	人	人

前回の改善計画	・自宅での生活も含め、生活リズムや地域の民生委員などとのつながりを調べ、将来に向けた生活課題の洗い出しにつなげます。
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問サービスの際に近所の方と話す機会があり、ご本人との関係性や地域内でのお1人暮らしの方へのサポートについて情報を知る事ができ、利用者の状態についても知ってもらいきっかけになりました。また、連絡先を教えていただき、日頃、事業所が関わっていない時でも何かあれば情報提供していただく体制づくりを進めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		13			
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	11			
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	9	3		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	8	4		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の暮らす地域の民生委員さんや区長さんと連絡をとらせていただき、事業所が関わっていない時の見守り体制や災害時の個別避難について話し合いをする機会を作りました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者の暮らす地域の方との関係づくりは進めましたが、ご利用者の生活の質を高めるための地域との具体的な役割分担などに関する話し合いの機会が十分に確保されていない事があります。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・民生委員さんや区長さんと共に災害時の個別避難計画を含むご利用者のケア内容について話し合う機会を増やし、ご利用者と地域の方との日頃の関りから有事の関りについて一緒に相談していきます。	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	8人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の日々の変化について確実に情報通信機器で記録し、必要に応じて情報通信機器の機能を活用しながら申し送りを徹底し、ご利用者のケアの評価を行いながらケアの質の向上につなげていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の状態やケアプランに沿った記録を基に職員間での話し合いの機会が増えた結果、季節によって体調を崩し入院を繰り返していた方が今年は一度も入院することなく在宅生活を継続できるようになりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	7			
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9	4			
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	5	8			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8	5			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 訪問時にご利用者の体調不良に気づき、即時的に「通い」「宿泊」を追加してご利用者の状態に合わせたサービス提供が実施できました。 地域の民生委員や他事業所と協力して在宅生活時の見守り支援体制を整える事ができました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> お一人で在宅生活を過ごすことが難しい方に対する情報収集不足と地域資源を活用した支援内容の具体化を進めていく必要があります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者個別の在宅生活の情報収集を継続しボランティアを含む地域資源を活用した支援を検討します。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
6. 連携・協働	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	8人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の住んでいる地域の民生委員などとの関わりを増やし、ご利用者の地域とのつながりの支援を進めます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の民生委員やご利用者の友人の方と話し合いの機会を作り、災害時の避難方法や草むしりや自宅内の整理整頓の役割を担っていただくことができ、皆で支援できる関係性作りができました。 他サービス事業所と情報共有の体制を作っていたことで、体調の不調に早期に気づき、サービス内容の変更や医療機関への受診に繋げることができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	5	3		
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	6	2		
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	8	1		
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	8	5			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の中で地域の行事や活動について情報交換を実施し、事業所ある町内のイベントに参加することができました。 法人主催の食育企画や健康体操に地域の方に参加していただき、ご利用者や職員との交流の機会を持つことができています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 特にお一人暮らしの方を中心に災害時の関りを把握しましたが、有事の際の行動や見守り体制が今後の課題となりました。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応について地域の方と関わる機会（話し合いやイベント参加等）を増やしながら日常から地域の方との連携を強めます。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
7. 運営	メンバー	（常勤）永田 丸岡 岡本 （非常勤）木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	11人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して職場会議前に資料を配布し、業務やケアについて職員が意見できるように仕組み作りを行います。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 事前に資料を配布することに併せて、日頃のミーティングから「通い」「訪問」「宿泊」の利用者情報についての話し合いができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	3	8	2		
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9	3	1		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9	3	1		
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	6	6	1		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議へご利用者やご利用者家族にも参加いただき、地域の行事や活動について情報交換をすることができました。 地域からのご意見をもとに、ご利用者の私物が混合しないようにロッカーを取り入れたり、ご本人の興味のある活動を支援することに繋がりました。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員としての意見の量や質に個人差がある。理念や行動指針に沿って事業所の質を上げていくために職員意見の吸い上げを工夫する必要がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員の見解吸い上げの検討を行います。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	6人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上委員会での取り組みを進め、職員の研修参加が出来るように業務改善につなげていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 職員の研修参加に向けて、事前に職場内研修の参加日程を該当職員と話し合いの機会を持って決める事ができ、計画的な研修参加ができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	10	3			
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	5			
③	地域連絡会に参加していますか	2	6	5		
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	5			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職場内で認知症ケアに関する学習会やケアの振り返りをする機会を作り、利用者の個別ケアの質の向上に繋がりました。 ご利用者の移乗、移動介助方法に慣れていない職員には個別的にリハビリ専門職員による指導を行い、誰が行っても介助できるようにしています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新人職員へのOJTをトレーナー中心に進めているが、「通い」、「訪問」、「宿泊」ごとの支援方法について継続して計画的に指導を進め、ケアの質を高めていく必要があります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新人職員へのOJTを継続します。 	

資料②

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月1日～31日（14:00～15:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	(常勤) 永田 丸岡 岡本 (非常勤) 木下 杉本 藤極 浅野 三好 中村 上田 黒川 道前 鳥居

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	8人	人	人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人の不適切ケアのチェックを確実にいき、課題に対しては取り組みに繋げていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 不適切ケアのチェックの結果を担当委員会で分析を行い、部門内での課題を見える化したことで、自分たちの支援のやり方について振り返る機会を持つことができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	13				
②	虐待は行われていない	13				
③	プライバシーが守られている	9	4			
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	3	1		
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	3			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 不適切ケアのチェックに対して、虐待の芽チェックリストのセルフチェック後にリーダーからフィードバックを受ける流れを作り、客観的視点からの気づきを得て実践に活かせるように取り組みました。 毎月のリーダー会議で現場におけるストレスに関する話し合いを行い、不適切ケアの予防を図っています。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度などのご利用者への保障制度についての情報を集めていく必要があります。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 保障制度の要件などについて情報収集を行い、関係者へ共有し必要時に支援します。 	

B.事業所のしつらえ・環境

【1. 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？】

施設の正面玄関は大通りに面し、一目で玄関と分かるように透明の自動扉になっており、中の様子が見えやすくなっています。休日や夜間は案内板を出して、施設駐車場側にある職員玄関のインターホンでいつでも職員が対応出来る環境となっています。事業所内の廊下にはご利用者が作成した作品を展示し、活動の様子の写真等も定期的にご家族や地域の方に発信しており、活動の様子が少しでも見えるように工夫をしています。

【職員玄関の様子】

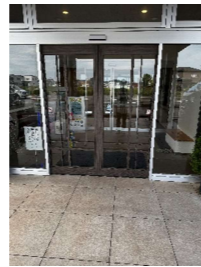


インターホン

【各階のスタッフルーム】



【正面玄関の様子】



【ご利用者の作品】



【2. 事業所は居心地がいい空間になっていますか？】

ご利用者からは、ガヤガヤしてなくて落ち着く、仲の良いご利用者と会う事や料理をする機会があって楽しいといったお喜びのお声をいただいています。また、事業所の強みであるリハビリ活動に対しても、「もっと早くに利用すれば良かった」といったお声もいただいています。

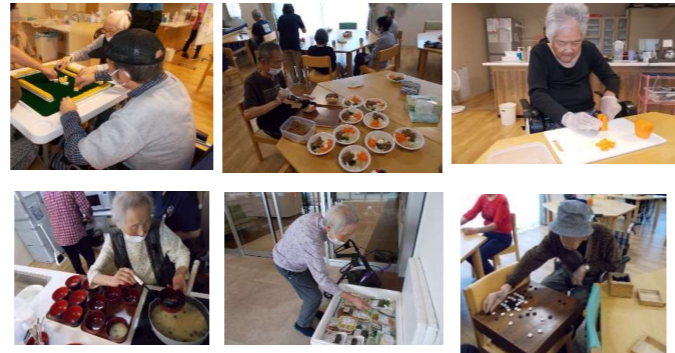
【ご利用者の笑顔】



【リハビリの様子】



【趣味・生活活動】



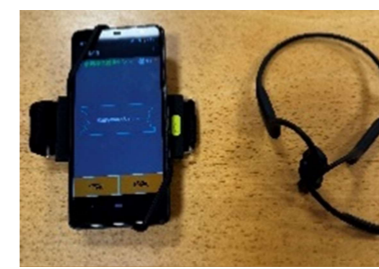
【3. 事業所内・外に不快な音や臭い等はないですか？】

ご利用者の活動の一環として、フロア内の清掃を職員と一緒に頂いています。空気清浄機も増台し清潔な環境作りを行っています。ご利用者が過ごされる空間に情報通信機器の通知音が鳴り響かないように、インカムを導入してより居心地が良い環境作りを行っています。

【清掃活動】



【インカムと端末】



【空気清浄機】



【4. 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？】

事業所の扉には鍵は設置されておらず、隣に併設されている特養へも自由に行き来して、いつでも交流が出来る環境になっています。ご利用者の安全を考慮して、正面玄関は2重の自動扉となっています。中からは暗証番号で開閉する様になっており、これは認知症のご利用者が誤って外へ出て行かれる事を防ぐためです。外出したいご利用者がいる場合は、事務所の方が気づき事業所の職員を呼んで対応しています。

C.事業所と地域のかかわり

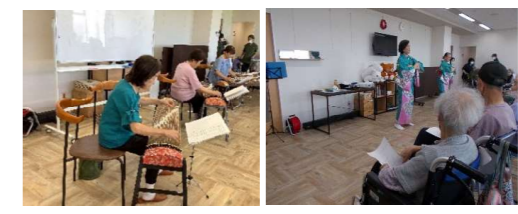
【1. 職員はあいさつできていますか？】

職員の名札の着用を徹底し、マスク越しでも職員の名前が分かりやすく、話しやすくなるように意識して取り組んでいます。ご利用者からも「毎日職員さんが挨拶をしてくださり嬉しい。スタッフの名前がすぐに分かったのみやすい。」といったお声も聞かれています。

【地域の児童さん達との交流】



【事業所でのイベントに参加した時の様子】



【2. 事務所は地域の方に知られていますか？】

毎月、活動案内を各病院や居宅介護支援事業所に行い、関係作りを行なっています。今年度から理学療法士による月1回の健康体操を開催し、多くの方に参加いただき「こんな企画があるならもっと早く来たかった」「他の人にも紹介します」など大盛況です。地域包括支援センターが主催する地域の方向けの「在宅ケアセミナー」に事業所職員が講師として参加して、小規模多機能型居宅介護のサービス説明や事業所紹介などをさせていただきました。

【リハビリ活動のチラシ】



【地域の方向けの健康体操】



【3. 何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？】

ご利用者からも「毎日話しかけて下さるので、何でも相談しやすく、世間話も沢山出来る。」
「専門の方がいるので相談しやすく、丁寧にしてくれる。」、ご家族からは「急な事や無理をお願いしても、対応してくれて助かっている。些細な事でも聞きやすい」とありがたいお言葉も聞かれています。
小規模多機能型居宅介護ではケアマネジャーが在籍している事が特徴であり、直接ケアマネジャーが送迎や訪問支援を行っていることで、早期に相談していただきやすい体制をとっています。
相談や見学対応は365日できる体制を整えており、2025年4月から10月の間で24件の相談、問合せがありました。毎月の活動案内時のご相談を含めると60件となり、昨年度の41件よりも多くのお話をさせていただいています。

【4. 事業所スタッフは地域の行事やイベントに参加していますか？】

去年に引き続き、地域のお神輿の休憩場所として提供し、今年も職員がお神輿にも参加しており、地域との交流の機会になりました。
職員が利用者と一緒に地域で開催された季節ごとのイベントに参加し、地域に知ってもらう機会を増やしました。
職員がAgatte委員会主催の健康体操に参加したり、ご利用者と一緒に福寿園に収穫体験を行うなど、地域の方と交流を深めることができました。

【鯖江高校の生徒さん達の実習の様子】



【地域イベントの様子】



D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み

【1. 利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？】

ご利用者の好きな場所や好きなもの、今までやっていたことを普段のコミュニケーションの中から聞き取り、外出の機会に繋げ活動範囲の拡大を行っています。また、ご利用者がふとした時に「ここに行きたい」とおっしゃった際もその日に出来る限り、ドライブや散歩、近くの公園へ外出できるように柔軟に対応しています。
ご利用者自身でも活動範囲を広げられる様に、毎日転倒予防体操を実施して身体機能の維持・向上を図っています。

【花見の様子】



【地域への外出の様子】



【鯖江高校福祉科学生との交流】



【潮風を感じて】



【菊人形で集合写真】



【屋外でのリハビリの様子】



【ご利用者のリクエストに応じた食事と買い物の様子】



【2. 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？】

独居生活のご利用者に対して、安全な在宅生活を継続するための支援方法や、災害時の避難先を保佐人や民生委員、区長さんを交えた話し合いの機会を作り、定期的な情報交換を行っています。

【3. 事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？】

前項C-4の内容と同様にお神輿の休憩場所に利用者も参加して、地域の方との交流の機会を持ちました。参加されたご利用者から「子供達から元気をもらった」「参加できて良かった」と笑顔で話されていました。ご利用者が昔から参加していた鯖江商店街の「やしき祭り」にも参加し、楽しい時間を過ごしていただきました。

【4. 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？】

ご利用者の住んでいる区長さんや民生委員さんと連絡を定期的に行い、その地域の高齢者世帯の情報共有を行っています。今年度からは地域の方向けの健康体操を月1回開催し、毎月13名ほどの方が参加されています。内容も参加者に意見を聞きながら決めており、毎回好評のお声をいただいています。

E.運営推進会議を利用した取組

運営推進会議を利用した取組については補足資料2の2025年9月度の運営推進会議録をお読みください。

F.事業所の防災・災害対策

【1. 事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？】

今年9月に実施した水害訓練にて自然災害事業継続計画（BCP）の見直しを行いました。具体的には、1～2階のご利用者や地域の方が建物3階に垂直避難をした際のレイアウトを写真にしてみえる化しました。

【2. 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？】

実際の避難訓練には参加できていませんが、独居の方や日中お1人になる方については区長さんや民生委員と話し合う機会を作り、個別避難計画を共に作成して災害時の避難計画を共有しました。

【3. 事業所の防災訓練に参加したことがありますか？】

6月に火災訓練、9月に水害訓練を実施しました。水害訓練の際は、事前にご家族や地域の方に避難訓練の日程をご案内し、訓練当日にはお電話でご利用者の安否確認や避難誘導の協力依頼をさせていただきました。今年度は3月に地震訓練を予定しています。

【4. 災害時、事業所は頼りになりそうですか？】

ご利用者に関しては、災害時の連絡先や想定される避難先を確認し、すぐに見れる状態になっています。備蓄品に関しては、飲料水はペットボトルのものと貯水槽を合わせて、100人が1人1日2ℓ必要として12.5日分、食料はレスキューフード800食準備しています。その他、ソーラー発電機や簡易トイレ、使い捨ての食器類など準備しています。